もったいない! 未来のために
母の視点で よりも で見直し
次世代に借金、リスクを残さない

県議会議員
西村久子 県政報告

第31号
発行 西村久子
彦根市甲崎町
TEL・FAX 43-4700
Eメール hisako@country-farm.net

今日 よりも 明日

なでしこジャパンの快挙は、復興を目指す日本国民に大きな勇気を与えてくれました。「絶対あきらめない」精神を小柄な日本女性が、相次ぐ国難にあえぐ日本人に「がんばれ!」と体を張って示してくれたのだと思います。信じられないような神業も、彼女たちの「絶対勝つ!」の信念に味方してくれたのでしょう。

若い頃夢中になって読んだ「日本沈没」、先の東日本大震災では本当に沈没するんでは…と不安が広がりましたが、先日お亡くなりになった作者小松左京氏は「この危機は必ず乗り越えられる。日本は必ずユートピアを実現できると思う。日本と日本人を信じている。」と震災復興への遺言を残されていたという。・・・信じたい日本人、底力を見せたなでしこたちと巷の現実、滋賀県では高校教育の再編が今大きな話題となっている。人づくり、教育こそ国の根幹をなすもの…熱い議論が展開されよう。

まだまだ続く暑い夏、何があっても生き抜こう…どうぞご自愛を・・・。

6月定例会一般質問(抜粋)　荒れた琵琶湖から考える治水について

5月の２度にわたる大雨は、琵琶湖岸が大荒れになりました。強風に煽られた高波によってまたしても浜崖が起り、平成２年以来という湖辺の民家にまで危険を及ぼすような波が打ち寄せております。

しかし、いつも浸水する湖辺一帯は、その被害はありませんでした。後に水資源機構による水位操作がされたことを知りましたが、先ず、今回の雨での水位調整と結果についてお聞きします。

答　本年5月は2度にわたって記録的な大雨が降ったことにより、琵琶湖水位は5月13日には基準水位プラス56㎝、また、31日には基準水位プラス51㎝にまで上昇。このため、瀬田川洗堰を操作する琵琶湖河川事務所においては、琵琶湖の水位上昇を抑制するために洗堰を全開放流。その結果、琵琶湖の水位がピークに達した後、いずれも4～5日を経て常時満水位にあたる基準水位プラス30㎝を下回る水位まで低下することができました。

また、水資源機構が管理している内水排除施設では、樋門を閉めて琵琶湖からの逆流を防止するとともに、排水機場でポンプによる排水を行い、湖岸堤背後地の浸水時間を大幅に短縮することができたところです。

今回の水位操作は、淀川下流の状況を見ながら洗堰から放流を行い、琵琶湖の水位上昇を抑制することで、家屋の浸水など沿岸の甚大な被害を避けることができたと評価をしております。一方で、水位上昇に伴い冠水したヨシ帯等に一斉に産卵したコイ・フナ類の卵が、その後の急激な水位低下操作によって大量に干上がるなど、生態系への影響も及ぼしたと考えております。

琵琶湖辺に住まわれる方は、水位が高いと一様に言われますがどう受け止められますか。

答　洪水期には、梅雨や台風等による大雨を想定して、事前に水位を下げておく制限水位方式による操作が行われております。

今回の5月の雨は非洪水期にあたり、洗堰操作規則のとおり洪水期と比べますと高い水位にあり、加えて季節外れの記録的な降雨があったため、一時的に高い水位に至ったものです。

県は、今回の水位操作から、今後の降雨に際しての水位操作に対し、何か注文をつけられますか、有るとすればどのような内容であるかも含めてお聞かせください。

答　水位上昇に伴い冠水したヨシ帯等に一斉に産卵したコイ・フナ類の卵が、その後の急激な水位低下操作によって大量に干上がるなど、生態系への影響も及ぼしたと考えています。治水で水を早く下流に流し水位を下げることと産卵の条件を整えるということは、あっちを立てたらこっちが立たずの、トレードオフ関係にあります。そういう中で、今後、治水、利水の利点のほか、生態系への影響にも配慮すべきと考え、この点については常々、適正な水位操作を琵琶湖河川事務所に求めているところです。

麦秋を間近に控えた湖辺農地は救われたと思っております、内水排除の効果を高く評価するところですが、それによって琵琶湖に大きな被害を出したのであれば、その被害をなくすための水位操作が更に必要であり、洗い堰の全開が必要不可欠であると思っております。知事は、近畿地整の権限を関西広域連合を受け皿として移管せよ…と主張しておられますが、今後において、仮に移管されたとして、滋賀県の主張を大阪や京都が呑んでいただけるでしょうか、今日の国による公平の見地からでさえ、なかなか滋賀の主張は認められていません。

上流は下流を思い、下流は上流を慮って…とは耳には美しいですが、到底相容れないものであります。直近の利害関係にあるところでの裁定は非常に至難であると考えるものですが、如何でしょうか。

答　瀬田川洗堰の操作には、治水、利水の両面で上下流の利害が相反する問題や生態系への影響など、複雑な構造が含まれております。

これまでの、国土交通省の出先機関による洗堰の操作は、どのような考え方で具体的にどのような操作が行われているのか滋賀県民にはほとんど知らされておりません。いわゆる、ブラックボックスとなっております。

このようなことから、府県域を超える広域的課題に取り組むこととして設立された関西広域連合こそ、まさにこの問題を議論していくことがふさわしい場と考えております。そうすることで、住民の目に見える形で、また、議会の皆さんの関わりもいただきながら、関係府県の知事、連合議会によって議論された上で、洗堰の操作が行われることとなり、流域自治の実現につながるものと考えております。

私は今も、瀬田川に流れ込む水の時間を遅らせる手立て、更に、琵琶湖に流れ込む河川の水を遅らせる手立て、すなわち治水ダムが必要であると思っています。如何でしょうか。

答　この治水ダムとは、大戸川ダムであると推察されますが、大戸川ダムの本体工事については、この議会でも議論をいただき、30年間の当面の間必要性はないという意見を知事として出させていただきました。その後の、決められました淀川水系河川整備計画では、一定の治水効果は認めるものの、淀川全体の治水対策の優先度の観点から、「当面実施しない。凍結する。」とされております。

現在、琵琶湖に流入する河川の上流に設置している姉川ダムを始めとする6つの治水ダムがございます。その6つの治水ダムの洪水調節容量の合計は、約1,600万㎥でございます。

この1,600万㎥を琵琶湖の水位に換算しますと、わずか2.4㎝程度しかございません。琵琶湖の水位上昇を抑制する効果は、ほとんど期待できないと考えております。

今回の東日本にあるような千年に一度というとてつもなく大きな災害までもない、時々の雨でさえ、度々の浜崖は琵琶湖に影響を及ぼして、環境破壊も著しいものです。彦根市の湖岸は16.5㎞その殆どにおいて砂浜がなくなりつつあります。自然な琵琶湖をこれ以上壊さないよう、農業政策をも視野に入れた究極の水位操作を望みます。

あなたの声を県政に！ いのちとくらしを守ります

編集・発行／自由民主党・滋賀県議会議員団

自由民主党 LIBERAL&DEMOCRATIC 滋賀県議会議員団 県議会レター

6月定例会　代表質問

三浦治雄
（栗東市）

難題を抱える滋賀県政への取り組みについて知事の政治姿勢・覚悟を問う！

1．知事の政治姿勢について
1．地域防災計画の見直しについて
1．滋賀県のエネルギー政策について
1．行財政改革に伴う削減について
1．流域治水政策について

野田藤雄
（長浜市）

県民生活の安全・安心のための具体的な施策について提案

1．国の出先機関の原則廃止について
1．県と市町との関係について
1．鳥獣害対策について
1．食中毒対策について
1．東日本大震災に伴う県内企業への影響について
1．環境こだわり農業について
1．近江牛輸出促進事業について
1．県立高等学校の再編問題について
1．警察の今後の方針と防災拠点としての警察署の耐震化について

自民党議員団　公約実現第１号

自民党の公約

自民党議員団は６月議会で、議員報酬２割削減（案）を提出しました。
赤堀議員から「ただちに実現できる公約は実現するという強い信念で提出」との提案説明がなされ、６月24日の本会議で可決されました。これにより年間約１億円の削減になります。

副知事１人体制に

厳しい財政状況であることを考え、自民党議員団の強い意見・要望により副知事を１人体制とする副知事人事案が可決されました。田口副知事は辞任され、米田副知事の退任に伴い総務省出身の後任副知事が７月26日に就任されました。

関電美浜原発会派視察

６月14日(火)

福島第一原発事故を契機に原発政策の見直しが進められています。本県は、福井の原発銀座に隣接し、しかも、風下に位置することから、地域防災計画を見直しすることになり、鋭意、検討が加えられています。関西電力美浜原子力発電所を視察し、現在の原発の安全対策ならびに関西電力管内のエネルギー事情について研修を実施いたしました。

皆様の声を県政に届けるため 26名全力で頑張っています。

私たちにご意見・ご要望をお聞かせ下さい。

【滋賀県議会議員団事務所】
〒520-8577 大津市京町４丁目 1-1(滋賀県庁内)
TEL 077-528-4010　FAX 077-528-5110
http://jimin-shiga-kengidan.jp/

（　）内は期数

大津市

佐野 高典(4)
さの たかのり

山本 進一(1)
やまもと しんいち

目片 信悟(1)
めかた しんご

佐藤 健司(1)
さとう けんじ

草津市

山田 和廣(3)
やまだ かずひろ

奥村 芳正(2)
おくむら よしまさ

湖南市

生田 邦夫(2)
いくた くにお

甲賀市

家森 茂樹(5)
やもり しげき

富田 博明(1)
とみだ ひろあき

野洲市

吉田 清一(5)
よしだ せいいち

栗東市

三浦 治雄(6)
みうら はるお

守山市

岩佐 弘明(1)
いわさ ひろあき

愛知郡

宇野 太佳司(1)
うの　たかし

犬上郡

大野 和三郎(1)
おおの わさぶろう

東近江市

宇賀 武(3)
うが　たけし

小寺 裕雄(2)
こてら ひろお

高島市

石田 祐介(3)
いしだ ゆうすけ

彦根市

西村 久子(2)
にしむら ひさこ

細江 正人(1)
ほそえ まさと

近江八幡市

有村 國俊(1)
ありむら くにとし

高木 健三(1)
たかぎ けんぞう

長浜市

野田 藤雄(2)
のだ　ふじお

川島 隆二(2)
かわしま りゅうじ

青木 甚浩(1)
あおき やすひろ

米原市

辻村 克(5)
つじむら まさる

赤堀 義次(4)
あかほり よしつぐ